作成日：　2011 年 8 月 22 日
改訂日(V.6)：　2026 年 5 月 15 日

安全データシート

１．化学品及び会社情報

化学品の名称：　日農フォース粒剤

会社名：　日本農薬株式会社
住　所：　〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋ＯＭビル
担当部門：　環境安全・品質保証部
TEL. 050-3490-3494
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号：(平日)　050-3490-3494（環境安全・品質保証部）
(休日、夜間)　04-2929-8961（ＡＬＳＯＫ）

推奨用途及び使用上の制限：農薬(殺虫剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可
ＳＤＳ番号：　５２８－５８(Ｍ１１－１３)

２．危険有害性の要約（※）
３．組成及び成分情報（※）
４．応急措置（※）
５．火災時の措置（※）
６．漏出時の措置（※）
７．取扱い及び保管上の注意（※）
８．ばく露防止及び保護措置（※）
９．物理的及び化学的性質（※）
１０．安定性及び反応性（※）
１１．有害性情報（※）
１２．環境影響情報（※）
１３．廃棄上の注意（※）
１４．輸送上の注意（※）
１５．適用法令（※）[1)]

（※）の項目および２～１５項に関する情報は、添付の安全データシート「フォース粒剤」(シンジェンタジャパン株式会社)、2026 年 3 月 10 日改訂 第 25 版)をご参照ください。

[1)] １５項のうち、当社製品の農薬取締法に関する記載は以下となります。
・ 農薬取締法：適用（※登録番号等の詳細については、製品容器のラベルをご参照ください）

１６．その他の情報

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。

次項以降に添付された安全データシート（SDS）において、２項以降の製品名や登録番号等が、弊社製品と異なる場合がございますが、弊社の製品名は本頁記載の通りとなります。また、添付された SDS に記載されている、成分の許容濃度等の作業環境に関する記載（８項）のうち製造元が独自に設定した数値（テフルトリン等）、および物理的及び化学的性質等の数値（９項）は製造元における情報であり、弊社製品の規格値・実測値や弊社が独自に設定する基準値とは異なる場合があります。

本製品に関するお問い合わせは、次頁以降の連絡先ではなく、本頁の連絡先までお願いいたします。

この頁と次頁以降を分離して使用することはご遠慮下さい。分離して使用された場合、当製品の SDS とは異なるものとなり、分離した SDS を使用したことより発生、起因した事故、不具合につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

改訂日　2026 年 3 月 10 日 （第 25 版）

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名		フォース粒剤
デザインコード		A13224Q
会社名		シンジェンタジャパン株式会社
	住所	〒104－6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
	担当部門	HSE グループ
	電話番号	03－6221－1027
	E メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
	緊急連絡先	同上
	緊急連絡電話番号	日本中毒情報センター 中毒 110 番 一般市民向け受信相談(情報料無料): 大阪 (365 日・24 時間): 072-727-2499 つくば(365 日・24 時間): 029-852-9999 医療機関専用有料電話(Syngenta 負担): 大阪 (365 日・24 時間): 072-726-9923 つくば(365 日・24 時間): 029-851-9999
推奨用途		殺虫剤
使用上の制限		推奨用途以外の用途に使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
急性毒性 (経口)	区分 4
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分 4
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 1A
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(呼吸器系、免疫系、腎臓)
水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1
GHS ラベル要素	

絵表示又はシンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報
H302 + H332 飲み込んだ場合や吸入した場合は有害
H319 強い眼刺激
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ
H373 長期にわたる、または反復ばく露による臓器(呼吸器系、免疫系、腎臓)への障害のおそれ
H400 水生生物に非常に強い毒性
H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策
P203 使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 + P265 取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

場合応急措置
P301 + P317 飲み込んだ場合:医療措置を受けること。
P304 + P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P318 ばく露またはその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。
P319 気分が悪い時は、診察を受けること。
P330 口をすすぐこと。
P337 + P317 眼の刺激が続く場合:医療措置を受けること。
P391 漏出物を回収すること。

保管
P405 施錠して保管すること。

廃棄
P501 内容物/容器を都道府県/政令指定都市等の規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

成分

化学名	CAS No.	含有量（%）	官報公示整理番号

テフルトリン	79538-32-2	0.5	4-(7)-1688
結晶質シリカ	14808-60-7	>= 0.1 - < 5.0	1-548
POA アルキルエーテル	69013-18-9	>= 1 - < 10	7-97

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意すること。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。 呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行う。 患者を暖かく安静にしておく。 医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服を脱がせる。 直ちに多量の水で洗い流す。 皮膚の炎症が続く場合は、医師に連絡する。 汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	直ちに、最低 15 分間はまぶたの内側も含め、多量の水ですすぐ。 コンタクトレンズをはずすこと。 直ちに医師の診察を受ける必要がある。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受け、この容器ないしラベルを見せること。 無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	非特異 既知または予期される症状はない。 飲み込んだ場合や吸入した場合は有害。 強い眼刺激。 遺伝性疾患のおそれの疑い。 発がんのおそれ。 長期にわたる、または反復ばく露による臓器(呼吸器系、免疫系、腎臓)への障害。
医療関係者への情報	専用解毒剤は入手できない。 対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時:	水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用する。
	大規模火災時:	耐アルコール性泡消火剤、水噴霧
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。	
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生する(「10. 安定性及び反応性」参照)。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。	
有害燃焼副産物	炭素酸化物 (CO, CO_2)	

	フッ化水素を含むフッ素化合物
	窒素酸化物 (NOx)
	塩素化合物
特有の消火方法	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。
	水を噴霧して密閉容器を冷却する。
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い必要に応じて保護具を着用する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	安全を確認してから、漏出または流出防止の措置をとる。 河川または下水システムに排水しない。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め、浄化の方法及び機材

除去方法	漏出物を封じ込めて専用の電気掃除機または湿ったブラシで集め容器に移し、地域/国の規制に従って廃棄する(「13.廃棄上の注意」を参照)。 ブラシや圧縮空気を使用して粉末を雲状に発生させない。 汚染面を十分に浄化する。 洗剤で拭く。ただし溶剤は避ける。 汚染された洗浄水を回収し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	火災に対する特別な対策は必要ない。 皮膚や眼への接触を避けること。 使用中は飲食及び喫煙を禁止する。 個人保護については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。
接触回避	知見なし

保管

安全な保管条件	特別な保管条件は必要ない。 容器を密閉して、乾燥した、涼しく換気の良い場所で保管する。 子供の手の届かないように保管すること。 食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度

成分	CAS 番号	指標	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
テフルトリン	79538-32-2	TWA	0.04 mg /m^3	Syngenta(2025 年)
吸入性結晶質シリカ	14808-60-7	第 1 種粉じん	0.03 mg /m^3	日本産業衛生学会(2025 年)
結晶質シリカ		TWA	0.025 mg /m^3	ACGIH(2025 年)

設備対策

ばく露が避けられない場合、密閉および/または隔離することが、技術的に最も確実な防御手段となる 。
保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。
空気濃度を職業ばく露基準以下に保つ。
必要に応じて、追加の労働衛生に関連する情報を求める。

保護具

呼吸用保護具

通常、呼吸用保護具は必要ない。
労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合、適切な認定呼吸器を使用すること。

手の保護具

材質	ニトリルゴム
破過時間	> 480 min
手袋の厚さ	0.5 mm
備考	保護手袋を着用すること。 適切な手袋を選ぶには、素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。製造者によっても違うので、その点にも注意する。 手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。破過時間は、素材の特徴の中でも、手袋の厚さと種類によって決定されるので、その時々に測定されなければならない。 手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候わずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えなければならない。

眼の保護具

特別の保護具は必要ない。
必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

特別の保護具は必要ない。
実際の作業内容やその危険性に基づいて、皮膚及び身体の保護具を選択すること。

保護対策

個人用保護具ではなく技術的対策を優先すること。
個人用保護具の選定については専門家のアドバイスを求めること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	褐色
臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし

可燃性(固体、気体)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	データなし
引火点	データなし
分解温度	データなし
pH	5.8 (20 %水懸濁液)
蒸発速度	データなし
自然発火温度	データなし
粘度	
動粘度(動粘性率)	データなし
溶解度	データなし
水溶性	データなし
溶媒に対する溶解性	データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度	データなし
見掛け比重	0.836
相対ガス密度	データなし
爆発特性	爆発性なし
酸化特性	本製品は酸化性物質としては分類されない。
粒子サイズ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	合理的に予想できるものは、なにもない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	指示通り使用すれば分解しない。
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情報	飲み込んだ場合 吸入した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合

急性毒性

飲み込むと有害。

製品

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, メス): 1,049 mg/kg
急性毒性(経皮)	LD50(ラット, メス): >2,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	ATE : 3.07 mg/l

成分

テフルトリン

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, オス): 21.8 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): 0.0427 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, メス): 177 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

製品

ごく軽度の刺激性。

成分

テフルトリン

種	ウサギ
結果	皮膚刺激なし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

強い眼刺激。

製品

種	ウサギ
結果	強い眼刺激。

成分

テフルトリン

種	ウサギ
結果	強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品

皮膚感作性

区分に該当しない。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

成分

テフルトリン

種	モルモット
結果	皮膚感作性なし。

生殖細胞変異原性

製品

遺伝性疾患のおそれの疑い。

成分

テフルトリン
生殖細胞変異原性 - アセスメント　動物実験で変異原性を示さなかった。
結晶質シリカ
生殖細胞変異原性 - アセスメント　区分2に分類される結晶質シリカを1.0%含有しているので区分2とした。

発がん性
製品
発がんのおそれ。
結晶質シリカを0.1%以上含有しているため区分1Aとした。
成分
テフルトリン
発がん性 - アセスメント　動物実験で発がん性を示さなかった。
結晶質シリカ
発がん性 - アセスメント　発がん性－区分1Aに該当。

生殖毒性
製品
データが不足しているので分類されていない。
成分
テフルトリン
生殖毒性 - アセスメント　生殖に対する毒性はない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)
製品
区分に該当しない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
製品
長期にわたる、または反復ばく露による臓器(呼吸器系、免疫系、腎臓)への障害のおそれ。
結晶質シリカを1.0-10%含有しているため区分2(呼吸器系、免疫系、腎臓)とした。
成分
テフルトリン
アセスメント　区分に該当しない。
結晶質シリカ
アセスメント　特定標的臓器毒性(反復ばく露)－区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)に該当。

誤えん有害性
データが不足しているので分類されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性
製品
水生生物に非常に強い毒性。
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。

成分
テフルトリン

魚毒性	LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.00006 mg/l ばく露時間: 96 h LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)): 0.00013 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (Americamysis (アメリカミシス)): 0.000053 mg/l ばく露時間: 96 h
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 1.05 mg/l ばく露時間: 96 h 備考: 調整可能な最高濃度
M-ファクター (水生環境有害性 短期(急性))	10,000
魚毒性(慢性)	最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノー)): 0.0000096 mg/l ばく露時間: 28 d
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性(慢性)	最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.000007 mg/l ばく露時間: 21 d 最大無影響濃度 (Americamysis (アメリカミシス)): 0.000012 mg/l ばく露時間: 28 d
M-ファクター (水生環境有害性 長期(慢性))	10,000
微生物に対する毒性	EC50(活性汚泥): > 1,000 mg/l ばく露時間: 3 h

残留性・分解性
成分
テフルトリン

水中での安定性	分解半減期: 60 - 203 d 水中で安定である。

生体蓄積性
成分
テフルトリン

生体蓄積性	生態蓄積性がある。

土壌中の移動性
成分
テフルトリン

環境中の分布	移動しない。
土壌中での安定性	消失時間: 48 - 151 d 消失割合: 50 % (DT50) 製品は持続性ではない。

オゾン層への有害性
製品
非該当

他の有害影響

成分

テフルトリン

PBT および vPvB の評価結果	物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。物質は、極めて難分解性、高生体蓄積性 (vPvB) ではない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物	薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。 廃棄物を下水へ排出してはならない。 可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用する方が好ましい。 リサイクルできない場合は、地域の規制に従って処分する。
汚染容器及び包装	残りの内容物を空にすること。 容器は 3 回すすぐ。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。 空の容器は再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号(UN number)	UN3077
国連輸送名(Proper shipping name)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (テフルトリン)
国連分類(Class)	9
容器等級(Packing group)	III
ラベル (Labels)	9
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	UN3077
国連輸送名 (Proper shipping name)	Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s. (テフルトリン)
国連分類 (Class)	9
容器等級 (Packing group)	III
ラベル (Labels)	Miscellaneous
梱包指示(貨物機) (Packing instruction (cargo air-craft))	956

梱包指示(旅客機) (Packing instruction (cargo air-craft))	956
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	UN3077
国連輸送名 (Proper shipping name)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (テフルトリン)
国連分類 (Class)	9
容器等級 (Packing group)	III
ラベル (Labels)	9
EmS コード (EmS Code)	F-A, S-F
海洋汚染物質	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当

国内規制

特定の国内規制については、「15.適用法令」を参照。

緊急時応急措置指針番号 171

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのためで、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいている。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性がある。

15. 適用法令

関連法規

農薬取締法

申請中

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号

α－(アルキル(C＝6～18))－ω－ヒドロキシポリ[オキシエタン－1，2－ジイル／オキシ(メチルエタン－1，2－ジイル)](数平均分子量が1，000未満であるものに限る。)	271

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2(則 34 条の 2 別表2)

化学名	含有量(%)	備考
結晶質シリカ	>= 0.1 - < 5.0	―

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条(則 30 別表2)

化学名	備考
結晶質シリカ	―

皮膚等障害化学物質 (労働安全衛生規則第 594 条の2)

非該当

がん原性物質(労働安全衛生規則第 577 条の2)

化学名
結晶質シリカ

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

劇物

化学名	政令番号	含有量(%)

2,3,5,6-テトラフルオロ-4-メチルベンジル=(Z)-(1RS,3RS)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート及びこれを含有する製剤	19.2	0.5

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送	有害液体物質には該当しない。
個品輸送	海洋汚染物質

水質汚濁防止法

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。2 項には政府による GHS 分類結果が反映されているため、11 項及び 12 項の試験結果と合致しない場合がある。

JIS Z 7252, JIS Z 7253　2025 に準拠

記載内容の取扱い	製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。 この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。 当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

その他の略語全文

ACGIH　：米国。ACGIH 限界閾値(TLV)

ACGIH BEI　：ACGIH - 生物学的ばく露指標(BEI)

安衛則 / 濃度基準値 : 濃度基準値(則第 577 条の2第2項の厚生労働大臣が定める濃度の基準)
安衛法(管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針
日本産業衛生学会(許容濃度) : 許容濃度等の勧告 - I.化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均

ACGIH / STEL : 短時間ばく露限界
安衛則 / 濃度基準値 / 8h-OEL-M : 八時間濃度基準値 / 許容濃度
安衛法(管理濃度) / TWA : 管理濃度、基準濃度
日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-M : 許容濃度
日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

改訂履歴

改訂年月	項目	改訂箇所および内容	改訂理由
2026 年 3 月	2 項	注意書き P フレーズの見直し	JIS Z7253-2025 に対応
	11 項	製品:急性毒性(吸入)の推定毒性値(ATE)追加	テフルトリンの急性毒性値からの影響
	15 項	PRTR 法の見直し	該当成分の再確認